

地域のみなさま、いつも大変お世話になっております。今年度は維新幼稚園にとって、とても大切な一年になることと思います。子どもたちにとっても、保護者の方にとっても、職員にとっても、そして地域の方にとっても、思い出や思いのいっぱい詰まった素敵な一年となるよう、手を取り合っていきたいと思っております。物心共にいろいろな面からいつも地域の方に支えていただき、遊びや生活がより充実したものになっています。いつもありがとうございます。令和5年度もよろしくお願いいたします。

今年も、幼児一人一人が、それぞれの興味関心、発達のペースに合わせながら、いろいろなことを発見して驚いたり、試したり、繰り返し挑戦したりしながら、毎日心と体を思いっきり動かしながら園生活を送ることができるよう、支えてきたいと思っております。

今回は、一学期の子どもたちの様子についてお知らせします。



幼稚園は・・・子どもが初めて出会う「教育(学校)」です。

身近な人(友達や先生・保護者・地域の人など)や物・ことがらなどの環境の中で、「遊び」を通して、様々なことに挑戦したり、自分の思いや考えを伝えたり、友達と力を合わせてやり遂げたりする経験をしていきます。いろいろなことに心を動かし、主体的に物事に関わろうとする力や経験が、小学校以降の学習や生活につながる「学びの芽」となります。「幼稚園が大好き、友達が大好き、地域が大好き」な幼児の育成を目指しています。

### その① <3歳児> 砂場って、楽しい!

砂場には、いつもみんなが集まります。型抜きに砂を入れてごちそうを作って並べることを楽しんでいる幼児。溝を掘り、水を流すことを楽しんでいる幼児。そこに乗り物などを流して、流れる様子を見ることを楽しむ幼児。同じ「砂場」という環境で遊んでいますが、「どんなふうにしようかな」という思いや、楽しさを味わっているポイントが一人一人異なっています。年齢が異なるとそれはとても顕著です。5歳児になると、友達とその思いを共有することが楽しかったり、一緒に作り上げることを喜んだりするようになり、自分の思いの中で遊んだり、先生と一緒に遊んだりすることから、友達へと広がってきます。



自分の持ちたい物を持って、したいことをそれぞれが楽しんでいます。





5歳児が、川を作ったり、といで高低差を付けたりして水を流すと、その様子を見て、3歳児も集まってきます。3歳児にとって、5歳児は遊びを教えてくれる魅力的で憧れの存在です。姿を真似たり、時にやりすぎて5歳児に怒られたりしながら、園生活のルールや遊び方を学んでいます。

## その② <5歳児> 友達と協力して

大きい組になって、とても張り切っている5歳児の子どもたちです。遊ぶときはいつも、「何する?」「相談して決めよう」と、互いに声を掛け合っています。友達とのつながりを感じ、一人ではなく、友達と一緒に遊ぶのもっと楽しくなるということを感じています。

昨年の5歳児がしていた遊びや活動をよく覚えていて、「今度は僕たちの番!」「やってみよう!」といろいろなことに意欲的です。



穴を深く掘ったらどうなるかなあ?どこまで掘れるか、試してみよう!



夏野菜の看板をトンカチで作ったよ。

直接水道から水を流すと、水を汲みにいかなくても川に流れていくよ。



小学生の踊っていた「ソーラン節」に憧れて、衣装を作って毎日踊りました。3歳児に舞台を譲ってあげながらも、お手本になって踊っています。



毎日が「ピアサポート」の維新幼稚園。カッパを着るのを手伝ってあげているよ。



カレーパーティでは、包丁を使って野菜を切ったよ。その姿を見守っている3歳児です。



自分たちで作るだけでなく、3歳児や交流園の友達にも楽しんでもらおうと、計画したり、役割を考えたりして進めています。

